

無線 LAN について

接続方式

- ・ 2008 年 4 月現在 IEEE 802.11 が主流
 - ・ 11a
 - ・ 54Mbps
 - ・ 5.15 ~ 5.35GHz/5.47 ~ 5.725GHz - 電波干渉を受けにくい
 - ・ 障害物に弱い
 - ・ 11b
 - ・ 11Mbps/22Mbps
 - ・ 2.4 ~ 2.5GHz - 電波干渉を受けやすい(電子レンジなど)
 - ・ 障害物に強く、電波が遠くまで飛びやすい
 - ・ 11g
 - ・ 11Mbps / 22Mbps
 - ・ 11b の上位規格

無線 LAN の各種機能 (Wikipedia からの引用あり)

SSID(サービスセット識別子 (Service Set Identifier))

無線 LAN を識別するための番号(名前)。SSID は暗号化していても通信するたびクリアテキストで転送されるので、セキュリティ機能としては、意味を成さない。

AOSS(AirStation One-Touch Secure System)

バッファロー独自の無線 LAN 簡単設定システム。自動的に設定しようとしている機器の間でパスワード等を設定してくれる機能。

WEP (Wired Equivalent Privacy)

無線 LAN 初期の暗号化規格。共有鍵暗号方式である RC4 が用いられているが、暗号化方式としては脆弱性が指摘されている。

WPA (Wi-Fi Protected Access) / TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

無線 LAN の暗号化規格の 1 つ。前述の WEP の脆弱性が改良するため、IEEE802.11i の策定に先立ち、Wi-Fi Alliance によって制定された。WEP での RC4 方式に改良が加えられた TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) と呼ばれる暗号化方式が採用されている。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2) / AES

WPA のセキュリティ強化改良版。IEEE802.11i の策定に伴い、それを取り込む形で制定された。アメリカ標準技術局 (NIST) が定めた AES 暗号化方式が採用されている。通常のパーソナルモード (PSK モード) のに加え、エンタープライズモード (EAP モード) として RADIUS 認証サーバを使った認証方式 (IEEE 802.1x) がオプションとして付け加えられた。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPA を初心者にも簡単に設定できるようにする規格

その他

- ・ IEEE 802.15 シリーズ
 - ・ Bluetooth (IEEE 802.15.1) - モバイル機器向け。
 - ・ Ultra Wideband (UWB、IEEE 802.15.3a)
 - ・ Zig Bee (IEEE 802.15.4)

IEEE 802.15 シリーズを無線 PAN (WPAN:Wireless Personal Area Network) と分類する事もある。

Link

- [無線 LAN - Wikipedia](#)
- [IEEE 802.11 - Wikipedia](#)